

物価スライド制で

暮せる年金へ第一歩

国民年金を「くらせる年金」に近づけるため、このたび大幅な改善が行われ、拠出制年金では五年年金の三・二倍を筆頭にいずれも二倍以上の年金額(別表)になったほか、物価スライド制も採用され、物価が年五割以上上昇したときは、それにあわせて年金額も自動的に引き上げられることになり、年金の価値がグッと高まりました。

さらに、4月2日から明治44年4月1日までに生まれた人で他の五年年金に加入しなかつた人たちのために、もう一度加入できる道も開かれました。これは、掛金(保険料)の合計額が半年分の年金でモトがとれるという有利な条件になっており、未加入者で次に該当する人は今すぐ加入することがトクと言えます。

国民年金5年年金一挙に3.2倍 大幅改善

改善された拠出制国民年金の額

種別	年金額	改善(月額)	引き上げ率
老齢年金	(附加年金を含む)25年納付	(25,000)円 20,000	(2.0)倍 2.5
	(附加年金を含む)40年納付	(40,000) 32,000	(2.0) 2.5
	10年年金	12,500	2.5
	5年年金	8,000	3.2
障害年金	1級	25,000	2.2
	2級	20,000	2.2
母子・準母子・遺児年金(子のとき)	母子・準母子・遺児(子・孫等1人)	20,000	2.4
	夫10年納付	4,000	2.5
寡婦年金	夫25年納付	10,000	2.5
	夫3年~10年納付	17,000	—
死亡一時金	10年~15年納付	—	—

※母子・準母子・遺児年金の加算額は、現行2人目以上の子等1人につき月400円を2人目800円、3人目以上、400円に改定

拠出制(保険料を納める)年金額のうちした大幅な引き上げに伴って、保険料も定額保険料の現行月額五五〇円は九〇〇円に、附加保険料の現行月額三五〇円は四〇〇円に引き上げられます。

保険料も引き上げ

拠出制(保険料を納める)年金額のうちした大幅な引き上げに伴って、保険料も定額保険料の現行月額五五〇円は九〇〇円に、附加保険料の現行月額三五〇円は四〇〇円に引き上げられます。

また、現在六十七歳から六十九歳までの人で年金制度から取り残されていた人たちに、四十九年一月分から月額四千円の「老令特別給付金」が支給されます。

この該当者は、明治37年1月1日から39年4月1日まで

に生まれた人で、他の年金や恩給をうけていない人たちに

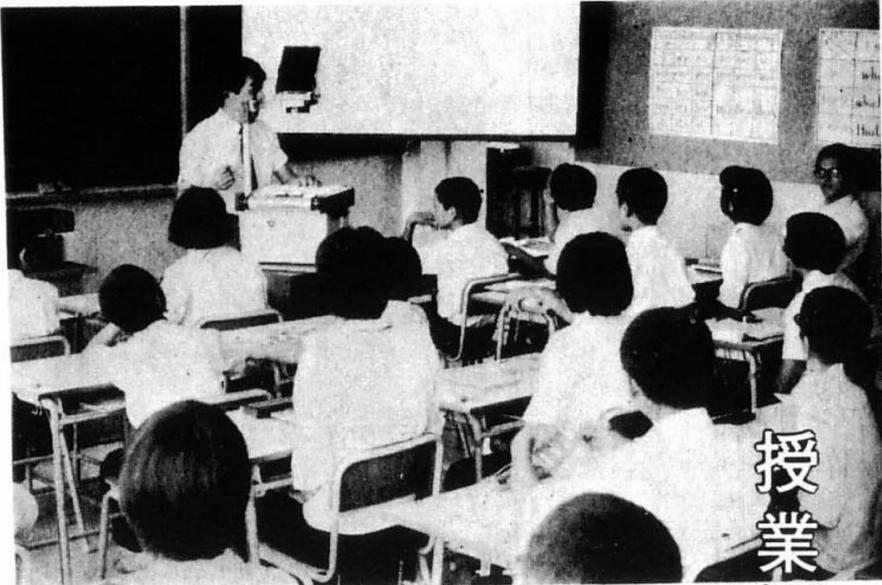
このほか、障害福祉年金に「二級」が新設されたり、支給制限が緩和されるなどの大きな改善も行なわれています。

第一日目の二十日、午前九時に北上市をスタートした一般一〇チーム、高校八チームは横手市までの六区間六四・五キロを無事走破、三年連続優勝をめざす谷村新興(岩手)チームがトップにたちました。

二日目の二十一日は、横手市役所前を午前九時に一般十チームが一斉にスタート、紅葉の奥羽路本庄市までの六二・五キロ(六区間)をひたすらに力走、本村の館合・大琴二カ所の中継点でも谷村新興が一位で通過、続く土崎陸友会、秋田自衛隊など本県勢も好調に中継しました。

村内の沿道一帯では多数の住民が待ち受け、銀え抜いた健脚で力走する選手たちに大きな拍手と声援を送って健闘を称えていました。

最終独走の形で三年連続優勝を飾った谷村新興チームのタイムは通算6時間32分25秒(二日目のタイムは3時間7分6秒)で、二位は土崎陸友会(秋田)三位、秋田自衛隊の順でした。



【写真】アナライザーでの学習風景 (公開授業で)

授業反響見 適格に 能力助長に効果大

教育効果を高める機器として東由利中学校(佐藤敏英校長)にアナライザー(集団反応分析装置)が導入されてから約半年、これを活用した授業では生徒個々の反応を即座にとらえ、適切な分析とフィードバック(修正動作・補充強化)が効果的に進められ、学習に大きな効果が上がっています。

アナライザーは生徒の学力を科学的、客観的に測ることができ、効果的な指導方法を確立するための最も進んだ教材の一つとされていますが、一セット最低百円以上と高価なだけにどこでも簡単に設置できないでいます。

生徒の学力を向上させるため、学習に刺激を与え、学習の効率を高めたい。とする同校教師の要望に基づいて、郡市内では、本庄北・同南・象潟・西目・羽田の各中学校に次いで東中が導入したものです。

この機器は、生徒個々の机の上にボタン式の回答器が設置されていて、教師・生徒間のコミュニケーションが同時に、しかも確実に伝達され、生徒の理解状況を的確に把握しながら授業を進めることができます。

②生徒の反応によって授業の計画を検証したりすることが可能。③授業の流れ

市外通話にマナーを 宿小へ教材に電話器

本庄電報電話局では、市外通話の申込み要領が十分でないため、思いがけない混乱を招くことが多いとして、次の順序で申込みようのぞんでいます。

①自分の局名と番号を交換手に告げる。②相手の局名と番号を告げる。③料金を知りたいときは「料金通知」と最初に申込む。ただし、料金は必

入植者の募集再開

八郎湯 千拓地 15ヘクタールを複合経営で

十月十七日、米の生産調整などで一時中断されていた八郎湯中央千拓地への第五次入植者募集が三年ぶりに再開されました。

募集規模は一〇〇戸程度となつていますが、今回が最後となるだけに全国からの希望者は約十倍近くにのぼると予想されています。

入植条件としては四次入植までとほぼ同じで、(イ)大規模農業経営をめざす者であること(ロ)25歳から40歳未満を原則とする。こと。(ハ)一世帯当たり一人以上の労働力を有する

本村からはこれまで六戸(第一次一戸、第三次二戸、第四次三戸)が入植、新生の大地で大規模農業に取り組んでいます。

出身者はいずれも、入植してよかつた。と考へており、今年には十戸当たり五〇〇〇とよ成績をあげています。入植戸数は四六〇戸ですが、すでに小中学校、農協・役場も建設され、現在では総世帯数が七〇〇戸に達し、人口も二、五〇〇人以上になりました。

今年から農業短大も開校され、今年から入植希望者について十一月下旬書類審査、十二月下旬筆記試験、来年一月下旬に面接試験、二月下旬に入植者決定というスケジュールが組まれます。



【写真】高屋

高屋部落は、昭和四十六年度から県代行事業で改良が進められている土場沢林道沿線にあり、土場沢地内の大金橋から新ルートの上り下り、小さな掘割を越えてようやく部落に達しましたが、保呂羽山のふもとを通る新ルートでは、部落を目前にのぞむことになり、かつてのようには不便な辺地部落のイメージを解消しています。

主産業である水田は、地形的にも規模拡大が困難であったことから部落民は早くから畜産を手がけ、一時は村内有数の馬産地にもなったといわれ、今日でも肉牛でよい成績を上げています。

また、近年は同部落唯一の「山ノ神」神社の改築や会館建設など部落民が一丸となって協力し合い、住みよい部落づくりに励んでいます。

世帯数一三、人口六八八人【写真】新ルートの立派な林道を通る工事用の車。

慶弔だより 9月26日~10月25日 出生 おめでと う 柳沢仁志 蔵 一志 長男 佐藤隆美 穂沢 隆一 長男 千葉和重 中ノ沢 長喜長男 高橋真佐子 久保 悦矢長女 小松恒子 家ノ下 進 三女

○結婚 おしあわせに 加藤 清一 湯出野 安倍 昌一 羽後町

○死亡 お悔み申し上げます 長沼 留吉 新町 69歳 小松永次郎 五海保 59歳 高橋 節雄 玉新田 24歳